

徳島県特別活動小中連携研究指定校事業

**OUR徳島特活小中連携いきいき事業
～中央部エリア～**

徳島県教育委員会

OUR徳島特活小中連携いきいき事業について

9年間の義務教育段階を見通した特別活動の指導の在り方について中学校区を実践研究モデル地域に指定し、モデル地域の小学校と中学校が連携し、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、児童生徒の「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に係る資質・能力を育成する。



あふれる笑顔 輝く夢 いきいきした学び

年間アドバイザー

杉田 洋（すぎた ひろし）

國學院大学 人間開発学部 初等教育学科 教授

前文部科学省初等中等教育局 視学官

日本特別活動学会 理事

全国特別活動学会 顧問

特別アドバイザー

清水 弘美（しみず ひろみ）

学校法人八王子学園なかよし幼稚園 園長

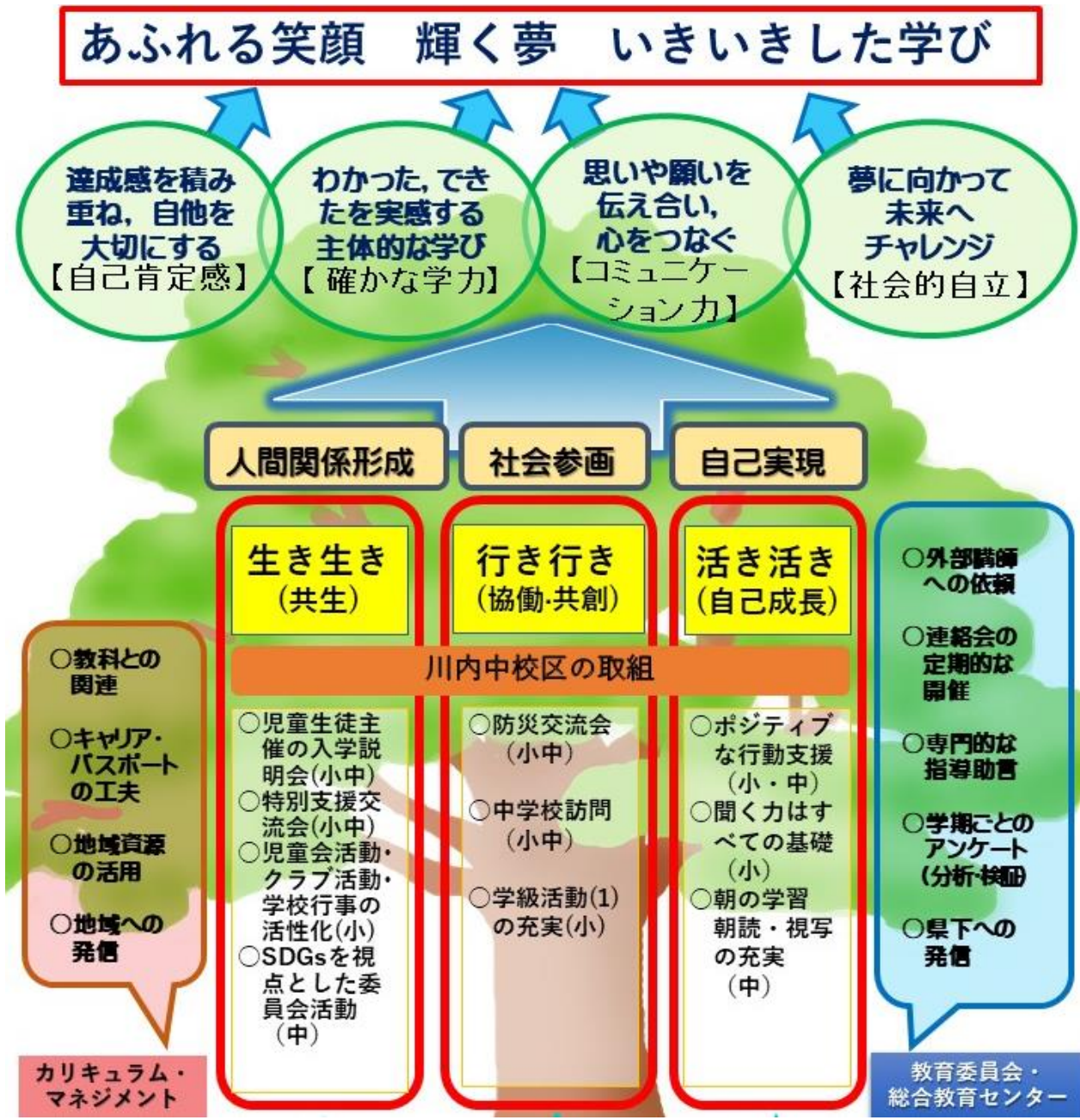
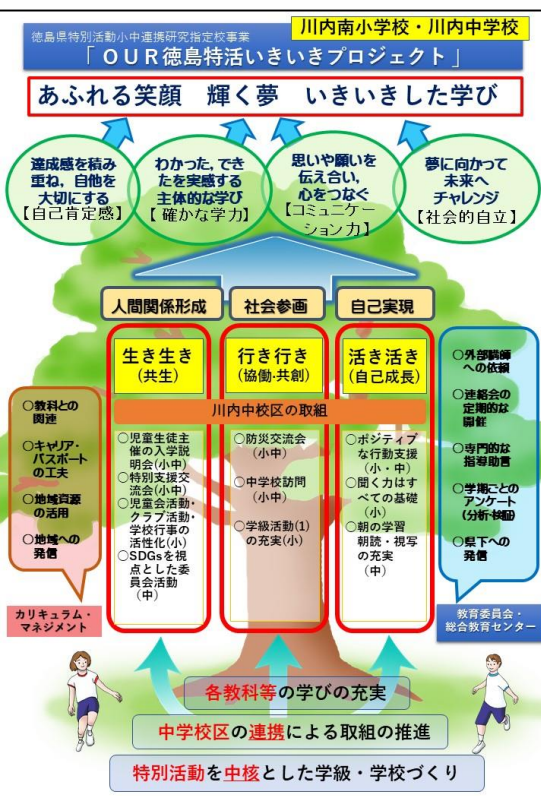
創価大学 非常勤講師 （特別活動論の指導）

東京都八王子市立浅川小学校元校長

全国学校行事研究会元会長

全国道徳特別活動研究会元副会長

令和4年度研究構想図



令和4年度 第1期研究会

令和4年6月17日(金)

川内南小学校：公開授業（全学級）

研究授業（学級活動（1）4年1組）

「しょうぎのアイデアを生かした、
すごろく大会をしよう」

川内中学校：川内南小学校への参観

学級活動(1)「しょうぎのアイデアを生かした、すごろく大会をしよう」



授業研究会・講話の様子



令和4年度 第2期研究会

令和4年12月1日(木)

川内南小学校：公開授業（学級活動（Ⅰ）、児童会活動）

- ・ 2年1組「2学期のお楽しみ会をしよう」
- ・ 5年2組「2学期のお楽しみ会をしよう」
- ・ 自由参加型集会「文字並べ大会」

川内中学校：公開授業（全学級）

研究授業（学級活動（Ⅰ）1年3組）

「球技大会を成功させよう！～クラスの絆を深めるために～」

児童会活動「文字並べ大会」



2年1組と5年2組の学級活動



1年3組 「球技大会を成功させよう！」 ～クラスの絆を深めるために～



中学校の公開授業の様子



令和4年度 第3期研究会

令和5年1月19日(木)

川内南小学校：公開授業（全学級の半数以上が学級活動）

公開授業（児童会活動）

代表委員会「『夢のめだか庭園』を使って、委員会からの
企画をしよう」

研究授業（学級活動（1）6年2組）

「1年生の思い出に残る交流会を計画しよう」

川内中学校：公開授業（生徒会活動）

生徒集会「卒業記念品贈呈式、各部委員会の取組報告会」

合同：取組の報告

卒業記念品贈呈式、各部委員会の取組報告会



取組の報告資料

小中連携
小中交流コーナーを通じて

2 取組の実際 ①学級活動(1)

5月20日 3年2組
議題「悪い出に残る過剰にするためにみんなでバスの中でするゲームを考えよう」

10月31日 2年2組
議題「よりよい学級にするために学級目標を実施しよう」

11月14日 1年2組
議題「みんなが楽しめるお楽しみ会を考えよう」

12月1日 1年3組
議題「球技大会を成功させよう！〜クラスの絆を深めるため〜」

異なる意見を互いに認め合い、協力して学級生・教師は話し合い活動は助言に徹することを学んだ。

3 成果と課題 生徒の姿容・成果

- 自分の意見をもつ、表現する、自己決定する場面を共有することができた。意見を言うときは理由をつけて発言することが定着した。
- 学級や学校での生活を自分たちでよくしていこうとする意識が見え始めている。学級の雰囲気がよくになっている。
- 友人の意見を大切にすることから思いやりの言動が感じられることが増えた。
- 自分の意見だけでなく、周りの人の意見に触れて集団の在り方を考えるようになった。人の話やお互いの意見をよく聞こうとするようになった。
- 話し合いの機会を設けると男女関係なく活発に話ができる。
- 生徒が主となり、企画・実践することより楽しく取り組み、達成感を感じていた。

小さなことから一歩ずつ
学校行事「運動会」
教頭等→児童会児童
自分たちで考えたことばを語り、児童・保護者の胸に響きました。

「開会式」開会のことば

「閉会式」閉会のことば

6年2組「1年生の思い出に残る交流会を計画しよう」



代表委員会の様子



令和5年度研究構想図



あふれる笑顔 輝く夢 いきいきした学び

友達といっしょに活動するのは楽しい！

友達の見聞を聞くのは楽しい！

達成感を積み重ね、自他を大切にする
【自己肯定感】

わかった、できたを実感する主体的な学び
【確かな学力】

思いや願いを伝え合い、心をつなぐ
【コミュニケーション力】

夢に向かって未来へチャレンジ
【社会的自立】

人間関係形成・社会参画・自己実現

行き行き
(協働・共創)

生き生き
(自己成長)

生き生き
(共生)



- 防災交流会 (小中)
- 中学校訪問 (小中)
- 学級活動 (I) の充実 (小中)



- ポジティブ行動支援 (小中)
- 聞く力はすべての基礎 (小)
- 聴く力・対話力の充実 (中)



- 児童生徒主催の入学説明会 (小中)
- 特別支援交流会 (小中)
- 児童会活動・クラブ活動・学校行事の活性化 (小)
- SDGs を視点とした対話的な委員会活動の充実 (中)

川内南小学校・川内中学校の取組

令和5年度 第1期研究会

令和5年7月11日(火)

川内南小学校：公開授業（児童会活動）

自由参加型集会（2・4・6年）

「創立150周年記念ビンゴ大会」

研究授業（学級活動（2）1年1組）

「『は』ぴかぴかだいさくせん」

川内中学校：研究授業（学級活動（1）3年3組）

公開授業

3年生学年集会「よりよい学校生活へ」

小学校の学級活動(2)、児童会活動の様子



中学校の学級活動(1)、学年集会の様子

令和5年度 第2期研究会

令和5年10月11日(水)

川内南小学校：研究授業（学級活動（1）4年1組）

「4の1じまん大会をしよう」

川内中学校：研究授業（学級活動（1）1年4組）

「1ー4の仲をより深めるためのお楽しみ会について考えよう」



小学校の学級活動(Ⅰ)の様子





中学校の学級活動(Ⅰ)の様子



令和5年度 第3期研究会

令和5年12月4日(月)

川内南小学校：公開授業（全学級が学級活動）

公開授業（児童会活動）

自由参加型集会「150ぴったリゲーム大会」

研究授業（学級活動（1）2年1組）

「先生方を2学きのお楽しみ会にしようたいしよう」

川内中学校：研究授業（学級活動（1）2年2組）

「クーラー稼働時のカーディガンの着用についてルールを
決めよう」

合同：取組の報告



小学校の学級活動(Ⅰ)の話合いや実践、児童会活動の様子





中学校の学級活動(Ⅰ)の様子



成果と課題について

～教職員の自由記述より～

成果

児童生徒

- ・児童生徒の主体性が高まり、学級活動の話合いや実践での反省を次回に生かすこともできている。
- ・自分にできることを考え、よりよい学級づくりに積極的に関わるようになった。
- ・生活の様々な場面で、前向きに考えて取り組もうとすることが増えた。
- ・自分の考えを発表して、みんなで意見をまとめることの大切さを実感している。
- ・話合いを児童生徒主体で進める力が高まっており、学校に話合いの文化ができ、児童会活動や生徒会活動が活性化した。
- ・自分たちで計画し、実践する楽しさを知り、友達の意見をよりよく発展させていこうという姿勢が感じられる。

成果

教師

- ・これまで十分な実践ができていなかった特別活動について、事業を通して理解を深めることができた。
- ・学校全体で目指す児童生徒の姿が明確になったため、主体的に活動しながら対話の力を高めることができるように計画を練って、学級会の研究授業ができた。
- ・各学級担任が学級活動を大切に取り組むようになった。また、小学校の普段の授業において、中学3年生の姿をイメージして指導ができるようになった。

課題

- ・時間的な余裕があまりなく、学級会の回数がなかなかとれない。
- ・児童生徒が自分の意見を発表するのは勇気がいることを痛感するとともに、発表できるようになるにはとても時間がかかることが分かった。今後も続けていくためには行事等との時間の調整が必要である。
- ・特定の校務との協力と連携が必要である。
- ・中学校での学級会活動の妥当性や意義を踏まえた取組を検討しなければならない。
- ・小中の距離があるため、今後も継続的に小中の連携を図っていくことが必要である。

2年間の事業を終えて

- ・学級会により円滑な進め方、積極的に発表する児童生徒の増やし方、話合いで発言するのが苦手な児童生徒への接し方等をさらに学びたい。
- ・児童生徒に気持ちや考えを言語化したり、表現したりできるように力を付けたい。
- ・本校が研修で学んだことを来年度どのように生かしていけるか、早めに職員間で検討していく必要がある。
- ・本事業が終わっても、研究が衰退しないよう、できる範囲で継続できるようにしたい。